

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立東小路小	学校
----------	----

児童数	40
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.63	18.21	29.25	41.08	39.33	9.15	145.63	22.04	52.00
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	17.73	16.13	32.00	38.33	31.07	9.46	139.47	15.23	53.79
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

体力合計点は、女子は全国・大阪市平均を上回り、男子はほぼ全国平均に並ぶ結果となった。また、握力、反復横とび、ソフトボール投げは、男女ともに全国・大阪市平均を上回り、50m走は男子が全国・大阪市平均を上回る結果となった。しかし、上体起こし、長座体前屈、20mシャトルランは、全国・大阪市平均を下回る結果となった。男女共に体の柔軟性と持久力に課題があることが分かった。

また、「運動やスポーツをすることは好きですか」という問いの回答状況は、男女ともに全国・大阪市平均を上回る結果となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、女子が全国平均を上回っているが、大阪市平均には男女ともに下回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体育的な学校行事として、3学期初めに2週間にわたって、15分休みに全校「なわとび強調週間」と設定し実施した。インフルエンザや天候により、予定していた回数は全て行うことができなかったが、各学年・学級ごとに「なわとびカード」を活用しながら、児童一人一人が自分の目標達成を目指して参加し、体力向上に努めた。また、各学年ごとに出席授業を活用し、サッカー、ラグビー、卓球、スナックゴルフ、グランドゴルフなどの様々なスポーツを体験し、体力向上に努めている。さらに日常では、休み時間には運動場に出て、体を動かしている子どもたちが多く見られるようになった。

体育科の学習をより充実したものにするために、昨年に引き続きシナプソロジーの実技研修も校内で行った。

今後も体育科に関する施設や教具を整備したり、充実させたりして子どもたちが様々な運動に親しむことができるように環境整備をしていく必要がある。